

2026 年度 長岡崇徳大学 一般選抜 I 期 「英語コミュニケーション I・II」出題の意図

高等学校では 5 領域を総合的に扱うことを一層重視し、総合的な英語力の向上を図ることが目標となっています。また、情報があふれる現代社会において、精読より多読による適切な情報収集と処理が求められています。これらを踏まえ、本試験は、一定量の情報や考えなどを迅速かつ的確に理解したり、適切に表現して伝える力を測ることを意図しています。

まず、Part 1（360 語）は平易なじみやすい話題での会話です。そのやりとりが成立するようにフレーズや文を選択することで、日常会話力を測ります。

Part 2（本文 180 語）、3（同 180 語）、4（同 180 語）、及び 5（同 280 語）は、それぞれ社会問題、科学技術、日本の文化、及び大学生活をテーマとした内容です。いずれもできるだけ新しい情報源を使用し、Part 6（本文 205 語）は社会調査からのグラフや表などの数値データとその解説文です。これを解釈できる力を測ります。最後の Part 7（本文 280 語）は、身近な健康問題を若者に向けに解説して、自分の力で、課題を解決できるように助言するサイトの記事を使用しました。